

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	30 - 2	事務事業名	障がい福祉事務	細事務事業名	精神障がい者給付金支給事務	公的関与	1	シート作成日	平成31年6月28日							
	課名	福祉課		グループ	障害福祉	担当課長名	大木弘己		シート作成者名	下里真理子							
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ			実施計画		事業の開始・終了									
		施策項目	障がい者支援の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	15 年度	～	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策	生活支援の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		弥富市精神障害者給付金支給要綱							
	個別計画																
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)											
		精神障がい者保健福祉手帳所持者				社会保障の理念に基づき、精神障がい者に給付金を支給することで福祉の増進を図ります。											
事業の内容	精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方に給付金を支給します。																
	精神障がい者保健福祉手帳1級の方 月額3,500円 精神障がい者保健福祉手帳2級の方 月額2,500円 精神障がい者保健福祉手帳3級の方 月額1,500円																
成果指標	①	指標名	障がい者福祉施策の充実に関する市民の満足度								②	指標名					
		指標設定の考え方	市民アンケート調査による数値				単位	評価点	指標設定の考え方					単位			
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度		平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度			
		実績	0.15	実績	—	目標	※	目標	0.12	実績			実績		目標	※	目標
		目標	0.11	目標	※					目標		※	目標				
DO	予算費目	会計	一般会計			款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費						
	直接事業費	平成 29 年度決算額			平成 30 年度決算額			平成 ※ 年度予算額									
		国・県支出金	千円			千円			千円								
		地方債	千円			千円			千円								
		その他特定財源	千円			千円			千円								
		一般財源	8,833 千円			9,619 千円			千円								
	計(A)	8,833 千円			9,619 千円			0 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.258 人			0.258 人			人									
	臨時職員工数・経費	1,780 千円			1,780 千円			0 千円									
	臨時職員工数・経費	0.035 人	56 千円		0.035 人	56 千円		人	0 千円								
全体事業費(A+B)	10,669 千円			11,455 千円			0 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	当市の単独事業であり、精神障がい者の経済的負担を補填するために欠かせない事業であるが、精神障がい者に対する福祉サービスも充実してきているため、金額等を見直すことも必要と考えます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	精神障がい者に対する基本的な経済施策として、ニーズの高い事業です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	受給者数及び給付額は増加傾向にありますが、精神障がい者に対する経済的支援施策として、目標は十分達成しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	収入の少ない精神障がい者への扶助は必要と考えますが、給付金受給者は増加傾向にあり、それに伴う担当職員の事務量も増加しています。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 3 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	精神障がい者への経済的補填のための施策ではありますが、社会情勢や他市町村の状況等を勘案しながら、適正な給付額の見直しも必要であると思われます。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
課題解決のための改善計画	精神障がい者への経済的補填のための施策ではありますが、社会情勢や他市町村の状況等を勘案し、適正な給付額の見直し等について検討を行います。					現在の制度では、所得要件も年齢要件も設けていませんが、精神障がい者保健福祉手帳所持者の増加に伴い、今後は検討していくべきです。					
備考											